

2部 ファシリテーター

信友智子（のぶとも さとこ）

プロフィール

開業助産師（春日助産院1965～・2005～院長）

90年代 アクティブバースに出会う。水中分娩・フリースタイル分娩実践。

敬愛する社会学者Sir シー・キッチンガー女史から学びたい一心で97年～英国テムズバリー大学助産師マスターコース終了。

助産師の哲学・出産の社会的意味・ジェンダー・科学的根拠のある医療 EBM、助産研究・・・を学ぶ。

妊婦の食育実践。西日本新聞「嘱託の向こう側」シリーズで取材受ける。

2014年に年間100件出産扱う助産院をミニマムに縮小し里山に移転。

現在、在宅出産中心に。産婆化進行中。

1990年代半ばよりミシェル・オダン医師・マースデン・ワグナー医師等との出会いから水中分娩・フリースタイル分娩実践。



2部 パネリスト

プロフィール

母親代表

甲斐理恵（かい りえ）

看護師とし大学病院小児内科勤務後、14年間福岡市行政保健師として従事。退職後、子どもが自然保育、多様な学びを実践する学校に通学しており教育分野での社会活動やコーチングセッション・健康に関するおはなし会などの開催を通し、保健活動を行っている。

伝えたい想い

昨今のお産事情に関する課題や問題点について、行政保健師としての経験をもとに、地域母子保健分野からの視点を踏まえ、子育て中の母親の立場、そして女性としての立場から、今を生きる人々と未来に繋がる命のために、局面打開への一石を投じることができればと想っております。

父親代表

林亮輔（はやし りょうすけ）

イタリア放浪後、農業修行を経て10年前に独立。現在むぎわらFARMの代表として農業、加工、民泊、ワークショップを行なっている。「楽しく食べて楽しく暮らす」をモットーに地域の子供達に関わる活動にも力を入れている。

2人目の子供の助産院での出産体験を経て、出産ってこういうものなのか！と感じ思ったことをお話しできればと思います。実際に出産したのは妻なのですが、一緒に産んだような感覚になる出産体験でした。1人目は病院で出産したこともあり、その違いについてもお話しできればと思います。

福岡市議会議員（緑の党と市民ネットワークの会）

森あやこ（もり あやこ）

1965年生。1993年からグリーンコープ生協活動や宮松小学校PTA副会長などの地域活動、2002年から「ふくおか市民政治ネットワーク」で活動。2013年、幼稚園教諭二種免許、保育士資格を取得。2015年、福岡市議会議員に初当選。現在、2期目。アレルギーを考える親の会の活動、和白干潟の自然保護活動、絵本の読み聞かせなどの活動も行う。

自身の経験は、長男は強い陣痛がありましたが子宮口が開かず、児の心拍低下のため緊急帝王切開術での出産となりました。次男は予定帝王切開術でしたが、麻酔の効きが悪い中での出産でした。

現実には、やっとやっとの思いで二人のいのちがこの世に生み出されました。誰にとっても、いのちがけのお産だと思います。大切な大切ないのちが誕生する“お産”について、勉強できたらと思います。

お申し込み 下記リンクよりお申し込み下さい



医療従事者専用お申し込みページ

一般専用お申し込みページ

がございます。

お間違えないようお申し込み下さい。

- 本シンポジウムはmemidのサービスを利用しております。そのためお申し込みにはmemid会員登録が必要となっております。
- Zoomライブ配信で配信トラブルにより視聴できなかった場合は、後日の録画配信をご視聴ください。その場合でも返金等の対応はいたしません。ご了承ください。

後日録画
配信付き

お問い合わせ先

（一社）日本助産所会 事務局

093-282-3476

jima20201214@gmail.com

運営協力：memid